

雪印の緑肥作物特性表

品種名	作物名	科名	緑肥のタイプ					線虫の抑制				緑肥の効果								最適な後作				
			短期休閑	後作緑肥	休閑緑肥	間作緑肥	越冬緑肥	施設ハウス	キタネグサレ	キタネコブ	ダイズシスト	サツマイモネコブ	有機物の補給	空中チツソの固定	菌根菌の増殖	透水性の改善	塩類除去	土壌保全	防風・隔離作物	景観美化	ビート	ジャガイモ	豆類	小麦
ハイオーツ	エンバク野生種	イネ科	●	●	●			●	●	●			●		●		●			●	●	●	●	●
キカラシ	シロガラシ	アブラナ科	●	●				●					●		●		●		●	●			●	
辛神	チャガラシ	アブラナ科	●	●				●					●		●		●		●	●			●	
まめ助	ベッチ類	マメ科	●	●									●	●	●		●			●	●		●	
まめゆたか	まめ助：5kg とちゆたか：3kg 混播セット		●	●									●	●	●		●			●	●			
ねまへらそう	スーダングラス	イネ科			●			●	●	●		●		●		●	●	●				●	●	●
つちたろう	ソルゴー	イネ科			●			●		●		●		●		●	●	●				●	●	●
くれない	クリムソンクローバー	マメ科	●	●						●			●	●	●		●		●		●	●	●	
アンジェリア	ハゼリソウ	ハゼリソウ科	●										●				●		●					長ねぎ
とちゆたか	エンバク	イネ科	●	●						●			●		●		●	●						
R-007	ライムギ	イネ科	●	●			●		●	●			●		●		●	●						タマネギ
デルソーレ	ヒマワリ	キク科	●	●	●								●		●		●		●				●	タマネギ
はるかぜ	アカクローバ	マメ科			●	●				●			●	●	●		●			●	●	●	●	
エンバク 緑肥用	エンバク	イネ科	●	●						●			●		●		●							
トウモロコシ 緑肥用	トウモロコシ	イネ科			●					●			●		●		●	●				●	●	

●：より適する    ●：適する    最適な後作物の無印は普通とする。

播種量 (kg/10a)	施肥量(kg/10a)			減肥の目安		炭素率	播種期 (月・旬)	鋤き込み期 (月・旬)	特 性
	N	P	K	N	K				
10～15	5	5	0～5	0～4	0～4	15～30	4下～6中 7下～8中 8下～9上 (ベッド跡)	7上～8中 10中～下 10下	初期生育旺盛、細茎・多葉で極多収 キタネグサレセンチュウ対抗作物 線虫対策は15kg/10a、9月播きは20kg/10a
2～3	休閑：5～8	5～10	0～7	2～5	0～6	15～25	4下～6中	6下～7下	生育旺盛で多収 テンサイの前作に最適(収量性を改善) 鮮やかな黄色い花をつける
	後作：5～8	5～10	0～7	4～6	0～6	12～20	7下～8下	10月	
1～1.5	休閑：8～10	5～10	0～7	1～3	0～6	10～20	露地：5月 ハウス：2～4月	露地：6下～7上 ハウス：4～6月	辛味の成分含量が高いアブラナ科緑肥 着苗～開花始の茎葉部の多い時期にできるだけ細断して鋤き込む ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可 景観緑肥にはキカラシのほうが良い テンサイ根腐病の発病軽減効果が期待できる8月上旬までにできるだけ播種を終える
	後作：8～10	5～10	0～7	2～4	0～6	10～20	8月(ハウスも)	9月下～10月	
5	2～5	5	0～5	3～5	0～4	10～15	5上～6中 7下～8中	7中～8中 10中～下	小麦や早出し作物後に播種できるマメ科緑肥 根粒菌も着生
8	休閑：4～8	6～8	0～8	0～4	0～6	20～30	5上～6中	7中～8中	直立性エンバク「とちゆたか」とベッチ類「まめ助」との混播 根粒菌の着生と8月下旬播種でも可能なセット
	後作：3～6	6～8	0～6	2～4	0～5	15～25	7下～8下	10中～下	
5～8	6～10	6～10	0～10	0～4	0～8	20～30	露地：6～7月 ハウス：5～8月	露地：8～9月 ハウス：播種2ヵ月後	ヘイオーツに準じてネグサレセンチュウを減らす 秋播き小麦の休閑に最適 栽培期間が長く、極多収 ドリフト対策の障壁作物として利用
5	露地：8～10	8～12	0～10	0	0～8	30～45	露地：6～7月	露地：8～9月	低温伸長性に優れ、初期生育が良好 種子が小粒でスタン্ড形成が良好 ドリフト対策の障壁作物として利用
	ハウス：3～8	3～8	0～8	0～4	0～6	20～40	ハウス：5～8月	ハウス：播種2ヵ月後	
2～3	3～4	8～12	0～6	2～4	0～5	15～20	4下～6中 7下～8上	7～8月 10月	ダイズシストセンチュウ対抗作物 根粒菌により空中チツソを固定し、地力を増強 深紅の花が景観美化に最適(春播きのみ開花)
2～3	5	5	0～5	0～4	0～4	15～25	5～6月	開花後	春播きで生育旺盛、被覆が早く雑草対策となる 綺麗な紫色の花が咲き、蜂花植物としても最適 花は8月まで楽しめる 前作で栽培するとネギの生育が良好(府県で実証)
後作・休閑：10～15 間作：5～8	4～6	5～10	0～5	0～4	0～4	15～30	4下～6中 7下～8中	播種60日後 出穂を目安	耐病・耐倒伏性の直立性エンバク 園芸作物や早春の防風作物に最適 カボチャの間作やタネバレイショの隔離作物として好評 ドリフト対策の障壁作物として利用
15	4～6	5～10	0～6	2～3	0～5	15～20	8下～9上(年内) 9中～下(越冬)	年内あるいは翌年5下～6上 (出穂を目安)	タマネギの後作緑肥に最適(保水力の増加や土を軟らかくする)、無施肥越冬させて早春の土壌侵食防止に最適 ドリフト対策の障壁作物として利用 ネグサレセンチュウを抑制
1	4～6	8～10	0～10	2～4	0～8	15～30	5上～6中 7下 8上(道央・南)	開花後1週間 を目安	大柄なため、土壌の有機物補給に最適 後作には菌根菌の共生関係が強いトウモロコシ、小麦、タマネギが最適 バーティシリウム半身萎凋病に強いが、発生圃場への作付けは避ける
休閑：2～3 小麦間作：3～4	2～4 0～2	8～12 0～5	0～5 0	5～6 2～4	0～4 0	11～15 10～13	5～6月 4月 (出来るだけ早く)	9～10月 9～10月	根粒菌により空中チツソを固定し、地力を増強 ダイズシストセンチュウ対抗作物 小麦間作は適度に土壌水分があるうちに播種する
15～20	4～6	5～10	0～5	0～4	0～4	15～30	7下～8中	10中～下	低価格の早生エンバク(春播きは不適)
2～3	8～12	12～16	0～12	0	0～10	30～35	5～6月	9～10月	遊休地の地力対策に最適 除草剤による簡単な管理で、粗大有機物を確保